

北海道大学北米ポートランドオフィスを開設

本学では、6月1日（土）、昭和47年に協定校となって以来息の長い交流を続けてきた、米国ポートランド州立大学内に、「北海道大学北米ポートランドオフィス」を開設し、札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念事業に合わせて、6月7日（金）に開所式を開催しました。

開所式には、本学から長谷川晃理事・副学長、川野辺創国際連携機構副機構長、吉村俊平理学研究院助教、植村妙菜国際URAが参加したほか、ポートランド州立大学よりプロボスト（教務担当副学長）のスーザン・ジェフォーズ博士、デジタルシティ・テストベッドセンター長のジョナサン・フィンク教授、ロン・ウィクザック国際部長、サリー・ムディウム国際副部

長、西芝雅美パブリックサービス研究・実践センター副所長、本学アンバサダーであるケネス・ルオフ日本学研究センター長、茅野 徹氏、本学パートナーであるガブリエル・ローゼン氏が参加しました。また、札幌市から秋元克広市長及び国際部職員5名が、札幌姉妹都市協会から福迫尚一郎会長（本学名誉教授、札幌市元助役）、ポートランド・札幌姉妹都市協会から理事2名が参列しました。

開所式では、本学及びポートランド州立大学の双方から、これまでの両学の様々なレベルにおける関係を振り返りつつ、オフィスを活用しての今後の交流深化に期待が示された後、秋元札幌市長より、本学卒業生として、またポートランドの姉妹都市の市長とし

て、オフィス開所への祝辞が述べられ、両学代表者による開所に係る合意覚書に署名がされました。同学には平成29年に横浜国立大学がランチオフィスを開設しており、このほど共同利用する形で本学がオフィスを開設することから、横浜国立大学、北海道大学双方のロゴを用いて共同製作したオフィスプレートがポートランド州立大学に贈られました。

北米ポートランドオフィスは、北米における本学の戦略的・組織的な国際連携を推進すべく、両学及び米国他機関との教職員・学生双方の人的交流支援を行うほか、北米情報収集拠点としての機能も期待されます。

（国際部国際連携課）



参加者の様子



合意覚書を持つ長谷川理事・副学長（左）、ジェフォーズ博士（中央）、ウィクザック国際部長（右）



参加者集合写真